

目次 1

使用法 2

安全情報 2

事前注意 3

目の安全に関する警告 6

はじめに 7

パッケージの概要 7

製品の概要 8

本体 8

接続ポート 9

リモコン 10

バックアップリモコン 11

ボタン電池の交換 11

取り付け 12

コンピュータ / ノート パソコンへの接続 12

ビデオへの接続 13

3Dビデオデバイスへの接続 14

3D眼鏡の使用 16

プロジェクタの電源オン/オフ 17

プロジェクタの電源オン 17

プロジェクタの電源を切る 18

警告インジケータ 18

投射イメージの調整 19

プロジェクタの高さを調整する 19

PureShift を使用して投射されたイメージ

位置を調整する 20

プロジェクタのイメージサイズの調整 22

ユーザー管理 23

リモコン 23

オンスクリーンディスプレイ メニュー 25

操作方法 25

メニュー ツリー 26

イメージ 27

イメージ | 詳細 29

イメージ | 詳細 | PureEngine 30

イメージ | 詳細 | 色設定 31

ディスプレイ 33

ディスプレイ | 3D 35

システム 37

システム | ランプ設定 40

設定 41

付録 43

トラブルシューティング 43

画像の問題 43

その他の問題 45

リモコンの問題 45

LED 点灯メッセージ 46

オンスクリーン メッセージ 47

ランプの交換 48

互換モード 50

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト 53

RS232ピン割り当て 53

RS232プロトコル機能リスト 54

天井への取り付け 56

Optoma 社グローバルオフィス 57

規制と安全に関する通知 59

FCC通知 59

EU 諸国への適合宣言 60

安全情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

クラスB放出限度

当クラスB デジタル機器はカナダ電波障害発生機器規約の全ての条件を満たしています。

安全に関する大切な指示

1. 通気口を塞がないでください。プロジェクタを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気口を塞ぐものがない場所に設置してください。例えば、飲み物等を置いたままのコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクタを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクタは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。火事や感電のリスクがあるため、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
6. 物理的に破損していたり、誤用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや誤用とは以下の通りです(ただしこれらに限定されません):
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが損傷している。
 - プロジェクタに液体をこぼした。
 - プロジェクタを、雨や湿気にさらした。
 - プロジェクタ内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる。

お客様自身でこのプロジェクタを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
7. プロジェクタ内部に、異物や液体が侵入しないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切な専門技術者しか行うことができません。

事前注意



この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上の注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



- ❖ ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタの電源は入りません。「ランプの交換」に記載の手順に従ってランプを交換してください。

■ 警告-

ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞいてはいけません。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。

■ 警告-

火災や感電の原因となるため、本プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。

■ 警告-

プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。

■ 警告-

ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。

■ 警告-

本プロジェクタは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

■ 警告-

ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーン表示の「システム|ランプ設定」にある「ランプリセット」機能を使用してリセットします。

■ 警告-

プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクタは、少なくとも90秒間、放熱してください。

■ 警告-

プロジェクタの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。

■ 警告-

ランプの寿命に近づく、「ランプを交換してください」というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。



推奨事項:

- ❖ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ❖ ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。
- ❖ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項:

- ❖ 本体の通気用のスロットや開口部を塞ぐ。
- ❖ 当機器を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄する。
- ❖ 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に温度が高いか低い場所、あるいは湿気の多い環境。
 - ▶ 室温が 5°C ~ 35°C の範囲に保たれていることを確認します。
 - ▶ 相対湿度は 10% ~ 85% の範囲です。
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場を生成する装置の傍に置く。
 - 直射日光の当たる場所。

3D機能を用いて3Dプロジェクタを見る

重要な安全情報。ご自身で、またはお子様が3D機能を使用される前に、次の警告をお読みください。

警告

- ❖ 幼児及び10代の方は3D鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は、念入りに監督ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- ❖ プロジェクタの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合またはてんかんや発作の家族歴がある場合、3D機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- ❖ てんかんや発作の個人歴または家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。

- ❖ 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の3D機能のご使用はお控えください。
- ❖ 次の症状を経験されたことがある方は、ただちに3D画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください。(1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び/または (10) 見当識障害。幼児及び10代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- ❖ 3Dプロジェクタの鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、または上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器の使用を中止し、症状が落ち着いてから最低30分はご使用をお控えください。
- ❖ 長時間、かなり画面の近くに座って3Dプロジェクタを鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- ❖ 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3Dプロジェクタの鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3Dプロジェクタの鑑賞を中止し、休憩ください。
- ❖ 3Dプロジェクタの鑑賞以外の目的での3D眼鏡のご使用はお止めください。その他目的(通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど)のための3D眼鏡の着用は、身体的に有害であり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- ❖ 3Dプロジェクタの鑑賞では、見当識障害を引き起こす人も一部います。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に3Dプロジェクタを設置しないでください。

目の安全に関する警告



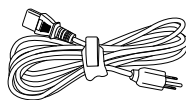
- 常にプロジェクタの光線を見つめたり、光線の方角に直接向くことは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクタを教室で使用する際に、画面上の何かを指し示すことを学生に求める場合は、適切に指導してください。
- ランプの消費電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

パッケージの概要

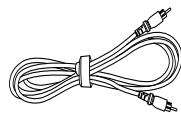
お買い上げいただいた製品の入っていた箱を開けて、中身をよく確認し、以下の付属品がすべて入っているかどうかお確かめください。付属品が足りない場合は、Optoma カスタマーサービスまでご連絡ください。



レンズ キャップ付プロジェクタ



電源コード 1.8m



コンポジットビデオケーブル
(1.8m)



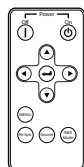
- ❖ 国によってアプリケーションが異なるため、一部の地域では別のアクセサリが付く場合があります。



12V トリガーコネクタ



リモコン



バックアップリモコン



単三バッテリー (X2)

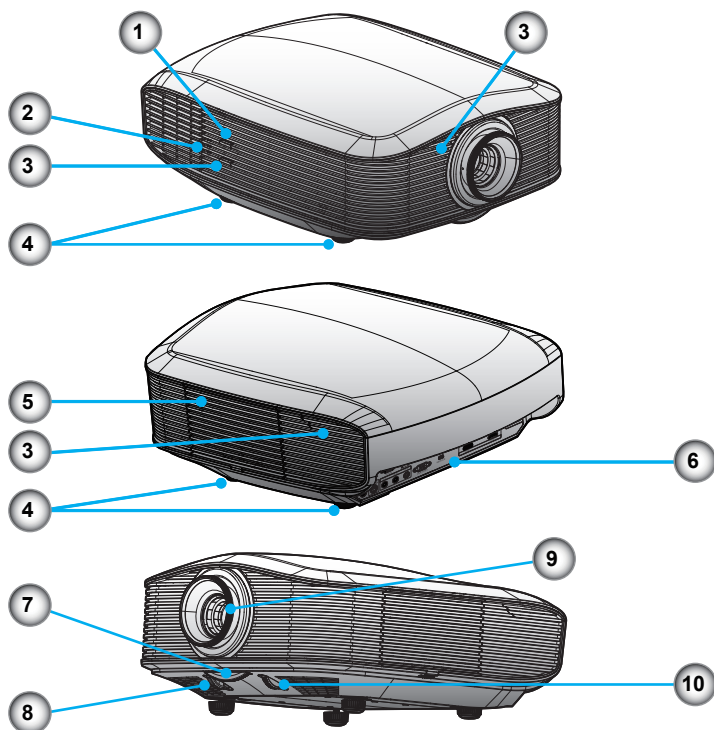


バックアップリモートバッテリー

文書:

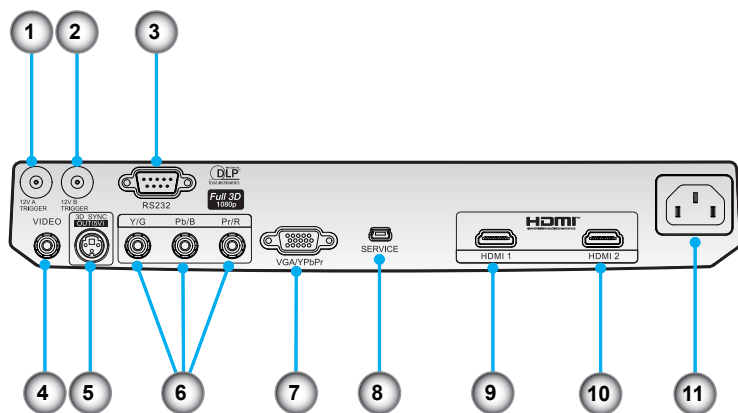
- ☒ ユーザーズマニュアル
- ☒ 保証書
- ☒ クイックスタートカード
- ☒ WEEE カード

製品の概要 本体



1. 電源ボタン
2. LED インジケーター
3. 赤外線レシーバー
4. チルト調整フット
5. ランプ交換カバー
6. 入出力接続ポート
7. ズームリング
8. 水平レンズシフト調整
9. フォーカス調整
10. 垂直レンズシフト調整

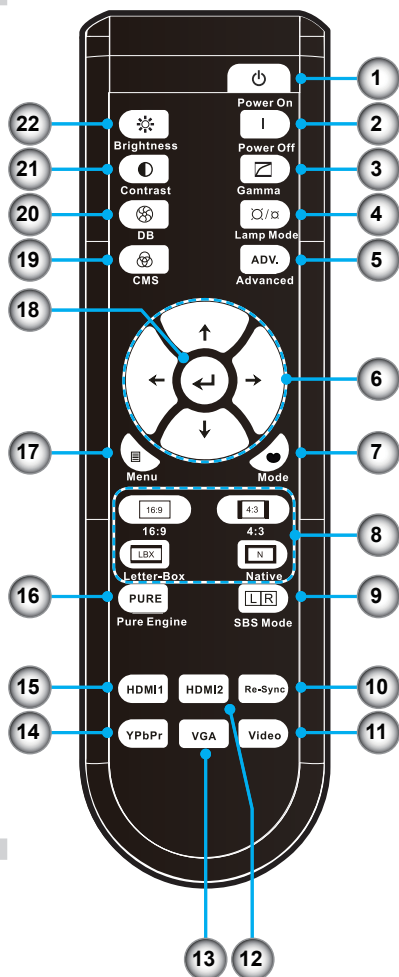
接続ポート



1. 12VトリガA
2. 12VトリガB
3. RS232
4. コンポジット ビデオ
5. 3D同期出力(5V)
6. コンポーネントビデオ
7. VGA入力
8. USBサービス
9. HDMI 1
10. HDMI 2
11. 電源ソケット

リモコン

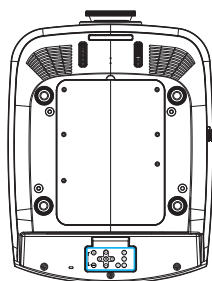
1. 電源オン
2. 電源オフ
3. Y
4. ランプモード
5. 詳細
6. 4方向選択キー
7. モード(ディスプレイモード)
8. イメージの拡大縮小
9. SBSモード
10. 再同期
11. ビデオ
12. HDMI 2
13. VGA
14. YPbPr
15. HDMI 1
16. PureEngine
17. メニュー
18. 入力する
19. 色管理システム
20. DynamicBlack
21. コントラスト
22. 輝度



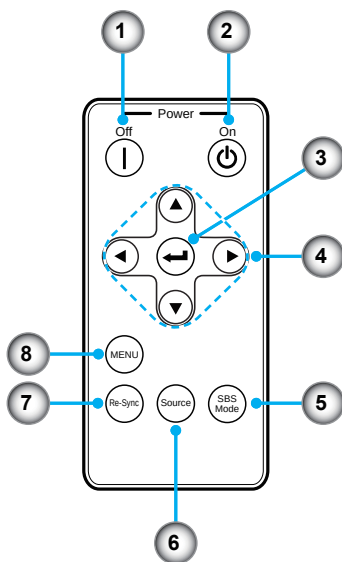
バックアップリモコン



- ❖ バックアップリモコンは、プロジェクタの下部に磁石で取り付けられています。



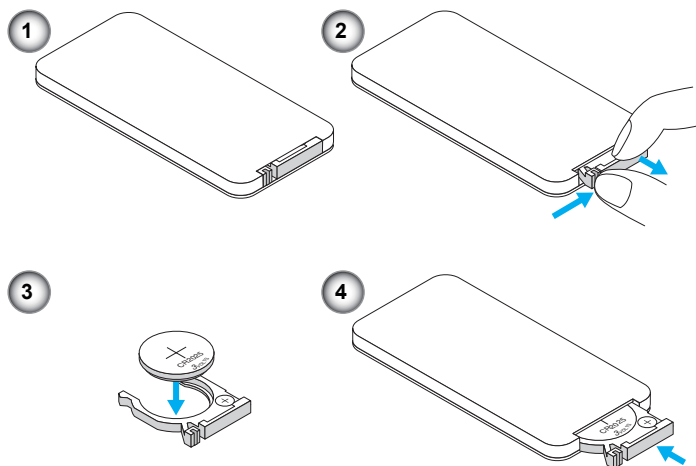
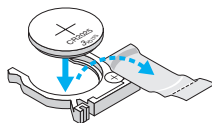
1. 電源オフ
2. 電源オン
3. 入力する
4. 4方向選択キー
5. SBSモード
6. ソース
7. 再同期
8. メニュー



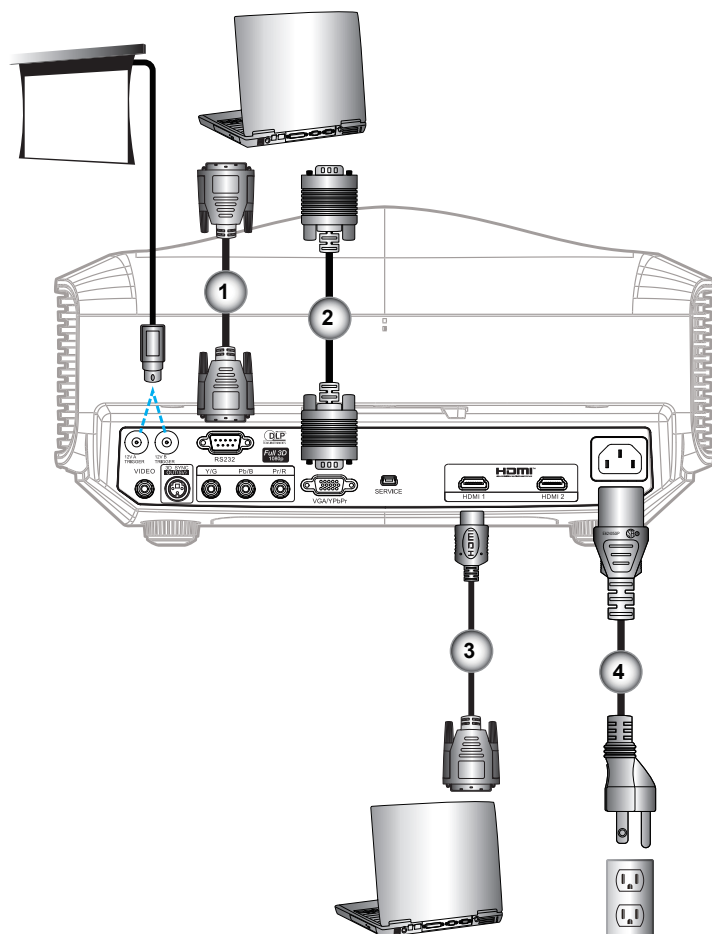
ボタン電池の交換



- ❖ 初めてリモコンを使用する時は、透明の絶縁テープを剥がしてください。



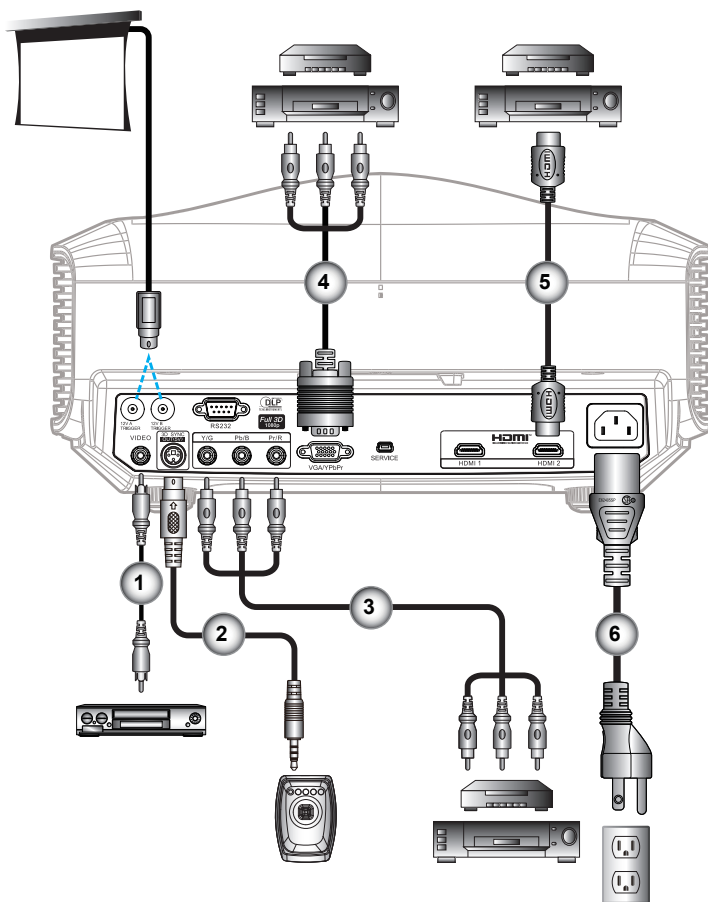
コンピュータ / ノート パソコンへの接続



- ❖ 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- ❖ * オプションアクセサリ

1. RS232 ケーブル *
2. VGA 入力ケーブル *
3. HDMI ケーブル *
4. 電源コード

ビデオへの接続



- ❖ 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- ❖ 12VトリガBはプログラム可能なトリガです。
- ❖ 3Dエミッターと3D眼鏡の接続に関する詳細については、ユーザーズガイドを参照してください。
- ❖ 高品質HDMIケーブルを使用してBlue-ray 3Dプレーヤーを接続します。
- ❖ * オプションアクセサリ

1. コンポジットビデオケーブル
2. エミッターケーブル*
3. RCAコンポーネントケーブル(YPbPr用)*
4. VGA対RCAコンポーネントケーブル(YPbPr用)*
5. HDMIケーブル*
6. 電源コード



3Dビデオデバイスへの接続



- ❖ 3Dビデオソース機器は、3Dプロジェクタの前に、必ず電源を入れてください。

図のようにHDMIケーブルと機器を接続した場合、使用準備完了となります。3Dビデオソースと3Dプロジェクタの電源をオンにします。

プレイステーション® 3つのゲーム

- プレイステーション® 3の最新ソフトウェアバージョン向けにコンソールをアップデートされたか、ご確認ください。
- 「Settings menu (設定メニュー) -> Display settings (表示設定) -> Video output (ビデオ出力) -> HDMI」へお進みください。「Automatic (自動)」を選択し、画面上の指示に従ってください。
- 3Dゲームのディスクを挿入ください。または、プレイステーション®経由でゲームをダウンロード(及び3Dのアップデート)することができます。
- ネットワーク ゲームのスタート。ゲームメニューで「Play in 3D (3Dを起動)」を選択ください。

Blu-ray 3D™ プレーヤー

- ご自身のプレーヤーが3D Blu-ray™ディスクに対応し、3D出力が可能か、ご確認ください。
- 3D Blu-ray™ディスクをプレーヤーに挿入し、「Play (プレイ)」を押してください。

3D TV (例、SKY 3D、DirecTV)

- ご自身のチャンネルパッケージにおいて、3Dチャンネルがあるかどうか、TVプログラムサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 使用可能となった場合、3Dチャンネルに切り替えてください。
- 並行する2つのイメージが出現します。
- 3Dプロジェクタの「SBSモード」に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレイ」セクションにあります。

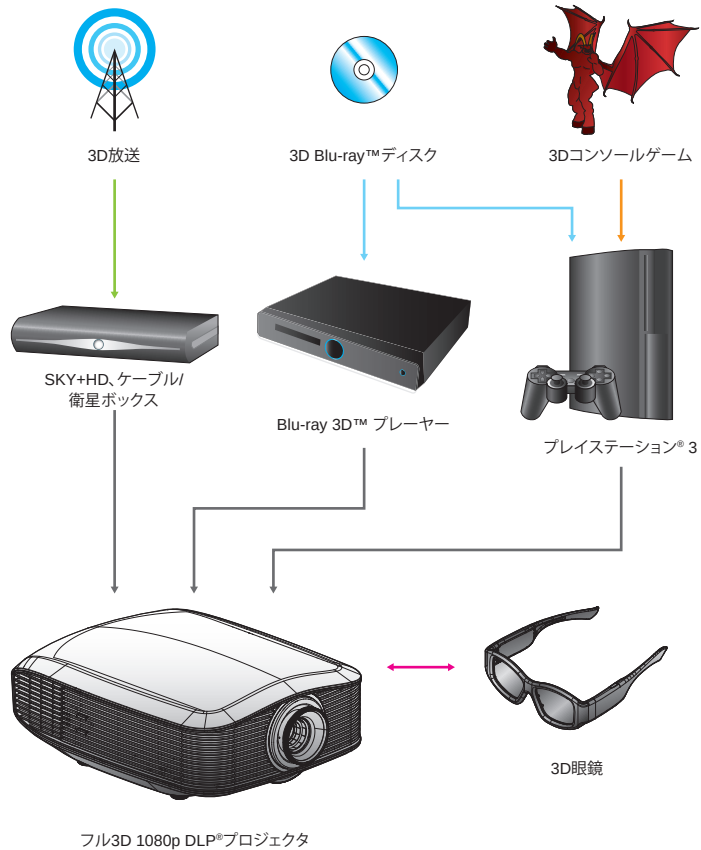
2D 1080iサイドバイサイド信号出力を伴う3D 機器(例、3D DV/DC)

- 3D機器に接続し、2Dサイドバイサイド出力を伴う3Dコンテンツから3Dプロジェクタに切り替えてください。
 - 並行する2つのイメージが出現します。
- 3Dプロジェクタの「SBSモード」に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレイ」セクションにあります。

HDMI 1.4a ソース(例、3D Blu-ray)から3Dコンテンツを見る場合、3D眼鏡を常に同期させる必要があります。HDMI 1.3 ソース(例、SBSモードを使用する3D放送コンテンツ)を見ている場合、プロジェクタの3D同期反転オプションを使用して3D体験を最適化する必要があります。オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレイ -> 3D」セクションにあります。



- ❖ 入力ビデオが通常の2Dの場合、「SBSモード」を押して「オフ」に切り替えてください。
- ❖ 「SBSモード」が作動している場合、入力映像はサイドバイサイドフォーマットではないとビデオの内容は正しく表示されません。その時は「SBSモード」をオフにして、通常の設定に戻ります。



ここで使用されている他の製品名、企業名、商標は、検証目的のためだけに使用され、商標や登録商標はそれぞれ所有者が存在します。全てのイメージはシミュレーションです。



❖ 詳細の情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドをご参照ください。

3D眼鏡の使用

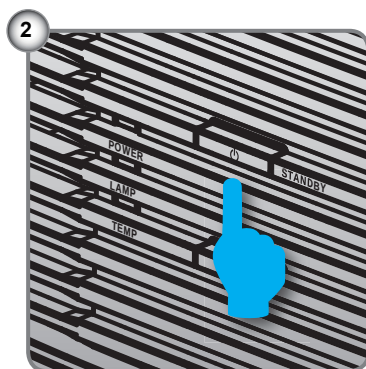
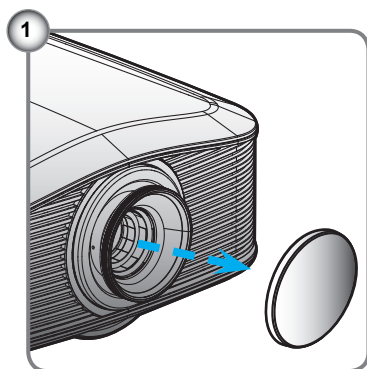
1. 3D眼鏡をオンにする: 「電源」ボタンを押すと、LEDが一度点滅し、眼鏡が3Dモード用になったことを知らせます。
2. 3D接続の検証がプロジェクタに送られ、信号がプロジェクタの仕様に対応します。
3. 3Dプロジェクタの「3Dモード」(DLP リンク/VESA 3D)をオンにします。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレイ」セクションにあります。
4. 3D眼鏡をオンにすると、眼の疲れなしの3Dで検証イメージが表示されます。
5. 3Dでイメージが表示されない場合、3Dイメージを送付しているかどうか、3D機器設定をよくお確かめください。または、入力信号が3D 1080iサイドバイサイドの際、「SBSモード」がオンとなっているかお確かめの上、上述の1～4のステップを再試行してください。
6. 3Dイメージが表示されているとき、プロジェクタの「3D同期反転」オプションを3Dを最適化します。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレイ」セクションにあります。
7. 3D眼鏡をオフにする: LEDスイッチがオフになるまで、「電源」ボタンを押し続けてください。
8. 詳細につきましては、3D眼鏡ユーザーガイド、またはメーカーサイトをご参照ください。

プロジェクタの電源オン/オフ プロジェクタの電源オン

1. レンズ キャップを取り外します。❶
 2. 電源コードとシグナルケーブルをしっかりと接続します。正しく接続されると、電源 LED が赤く点灯します。
 3. プロジェクタ側面またはリモコンの「」ボタンを押して、ランプの電源を入れます。電源 LED が青で点滅します。❷
起動画面は約 30 秒後に表示されます。プロジェクタを初めて使用する場合、起動画面が表示された後にクイック メニューから使用言語を選択できます。
 4. スクリーンに表示したいソース (コンピュータ、ノートPC、ビデオプレーヤー等) の電源を入れます。プロジェクタが自動的にソースを検出し、スクリーンに表示します。検出されない場合、「メニュー」ボタンを押して、「設定」を開きます。「ソースロック」が「オフ」になっていることを確認してください。
- ❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、リモコンの「ソース」ボタンを押して入力を切り換えることができます。

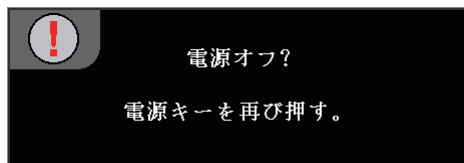


- ❖ まず、プロジェクタの電源を入れた後、信号ソースを選択します。



プロジェクタの電源を切る

1. リモコンの「I」ボタンまたはプロジェクタ側面の「O」ボタンを1秒間の間隔を開けて2度押すと、プロジェクタの電源が切れます。初めてボタンを押すと、画面に次のメッセージが表示されます。



- 「I」ボタンをもう一度押し、シャットダウンを確認します。ボタンを押さないと、メッセージは15秒後に消えます。
2. 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約60秒間動作を続け、電源LEDは青に変わり点滅します。ライトが赤く点灯すると、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。
プロジェクタの電源を再び入れたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、「O」ボタンを押すだけでプロジェクタを立ち上げることができます。
 3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。
 4. 電源を切った直後は、プロジェクタの電源を入れないでください。

警告インジケータ

- ❖ 「ランプ」インジケータがオレンジに点灯すると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。最寄りの Optoma 取扱店にご連絡ください。
- ❖ 「温度」インジケータが赤く点灯した場合は、プロジェクタが過熱状態であることを意味します。プロジェクタは、自動的にシャットダウンします。
- ❖ 通常の条件下で、プロジェクタは、冷ました後に再び電源を入れることができます。
- ❖ 「温度」インジケータが赤色に点滅している場合、ファンが故障していることを意味します。
- ❖ プロジェクタの熱が冷めた後、リモコンの「↑」ボタンを10秒間押してエラーモードをスタンバイモードにできます。

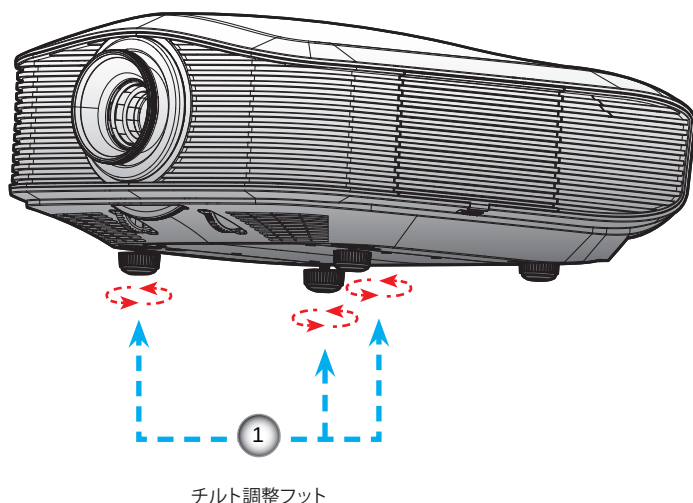


- ❖ プロジェクタにこれらの症状が現れる場合は、お近くのサービスセンターまでご連絡ください。

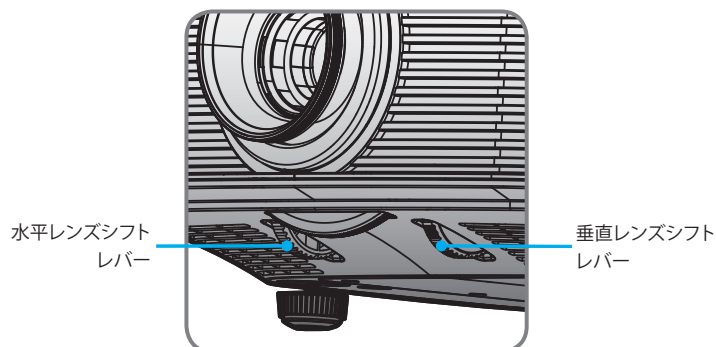
投射イメージの調整 プロジェクタの高さを調整する

本プロジェクタには、投射イメージの高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

- ❖ イメージを上げるには：
脚部のねじを使用してイメージを希望する高さ/角度まで上げ、表示角度を微調整します。❶
- ❖ イメージを下げるには：
脚部のねじを使用してイメージを希望する高さ/角度まで下げ、表示角度を微調整します。❷



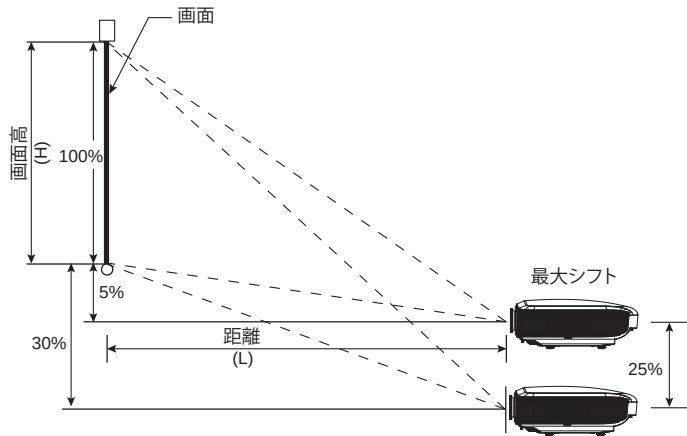
PureShift を使用して投射されたイメージ位置を調整する



PureShift にはレンズシフト機能があり、この機能を使用すると、以下に示した範囲内で投射されたイメージの位置を水平または垂直に調整することができます。PureShift は独特なシステムで、従来のレンズシフトシステムよりずっと高い ANSI コントラスト比を維持したまま、レンズシフトを行います。

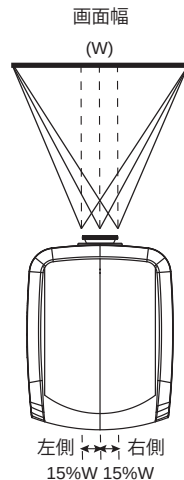
❖ 垂直イメージ位置を調整する

最小の垂直イメージオフセットでは、イメージをプロジェクタレンズの中心より 5% 高い位置で固定します。これは、変更することができません。垂直イメージ高は、イメージ高の 5%～30% の間で調整できます。最大の垂直イメージ高調整は、水平イメージ位置によって制限できることにご注意ください。たとえば、水平イメージ位置が最大の場合、上で示した最大の垂直イメージ位置高を得ることはできません。詳細については、以下の PureShift 範囲図を参照してください。

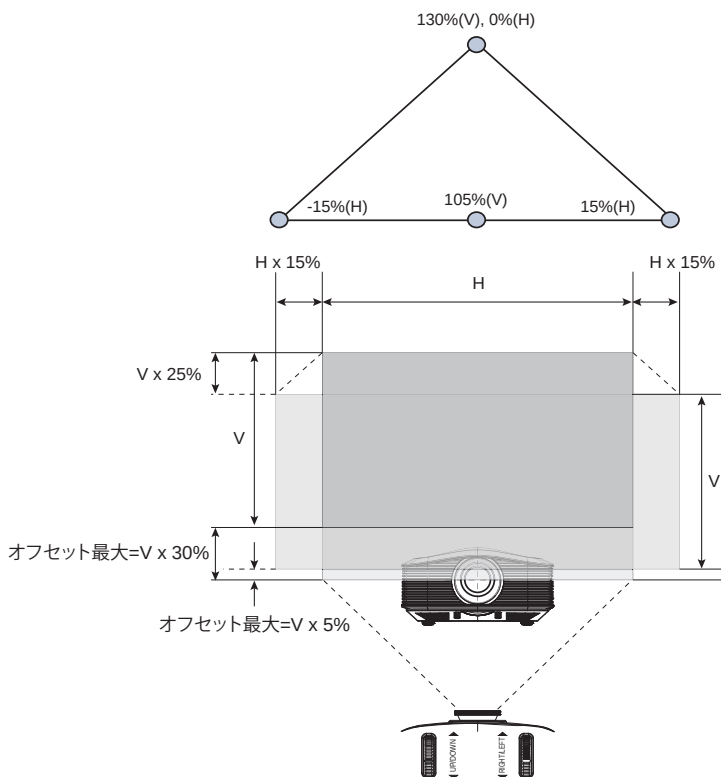


❖ 水平イメージ位置を調整する

レンズを中心の位置にしたまま、水平イメージ位置はイメージ幅の最大 15% まで左または右に調整できます。最大の水平イメージ高調整は、垂直イメージ位置によって制限できることにご注意ください。たとえば、垂直イメージ位置が最大の場合、最大の水平イメージ位置を得ることはできません。詳細については、以下の PureShift 範囲図を参照してください。



❖ PureShift 範囲図



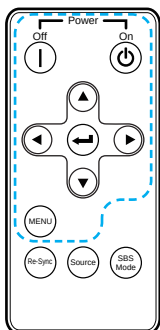
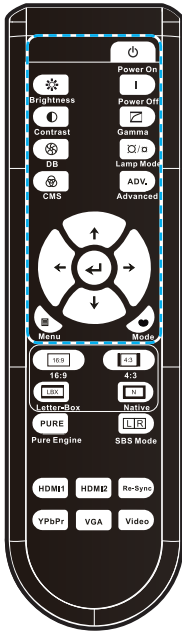
プロジェクタのイメージサイズの調整

16:9スクリーンの 対角長(インチ) サイズ	スクリーンサイズ 幅 × 高さ (16:9)				投射距離				オフセット (Hd)	
	(m)		(フィート)		(m)		(フィート)		(m)	(フィート)
	幅	高さ	幅	高さ	幅	テレ	幅	テレ		
30	0.66	0.37	2.18	1.23	-	1.51	-	4.97	0.11	0.37
45	1.00	0.56	3.27	1.84	1.49	2.27	4.88	7.45	0.17	0.55
50	1.11	0.62	3.63	2.04	1.65	2.52	5.43	8.28	0.19	0.61
60	1.33	0.75	4.36	2.45	1.98	3.03	6.51	9.93	0.22	0.74
70	1.55	0.87	5.08	2.86	2.32	3.53	7.60	11.59	0.26	0.86
80	1.77	1.00	5.81	3.27	2.65	4.04	8.68	13.24	0.30	0.98
90	1.99	1.12	6.54	3.68	2.98	4.54	9.77	14.90	0.34	1.10
100	2.21	1.25	7.26	4.09	3.31	5.05	10.85	16.55	0.37	1.23
120	2.66	1.49	8.72	4.90	3.97	6.05	13.02	19.86	0.45	1.47
150	3.32	1.87	10.89	6.13	4.96	7.57	16.28	24.83	0.56	1.84
200	4.43	2.49	14.53	8.17	6.61	10.09	21.70	33.11	0.75	2.45
300	6.64	3.74	21.79	12.26	9.92	15.14	32.55	49.66	1.12	3.68



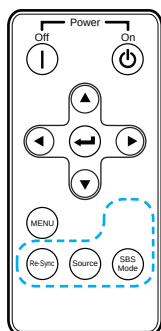
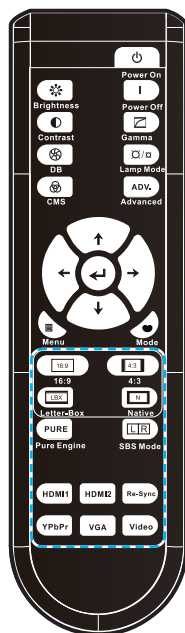
❖ 図は、ユーザーの参考用の目安です。

リモコン



リモコンの使用

	電源オン	プロジェクタの電源をオンにします。
	輝度	画像の輝度を調整します。
	電源オフ	プロジェクタの電源をオフにします。
	コントラスト	映像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。
	γ	ガンマのカーブタイプを設定します。
	DynamicBlack	この機能により暗いムービーシーンの表示が自動的に最適化され、プロジェクタが細部までくっきり表示できるようにします。
	ランプモード	ランプの輝度を調整します。
	色管理システム	色(R/G/B/C/M/Y)のいずれかを選択して、そのx/yオフセットと輝度を調整します。
	詳細	「イメージ」詳細メニューを表示または終了します。
	入力する	選択した項目を確定します。
	4 方向選択キー	方向選択キーを使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
	メニュー	プロジェクタのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
	モード (ディスプレイモード)	シネマ、ブライト、フォト、参照、ユーザーからディスプレイモードを選択します。



リモコンの使用

	16:9	16:9のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
	4:3	4:3のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
	レターボックス	全画面幅でアナモルフィックに拡張されたムービーをレターボックス付きで表示します。イメージのアスペクト比が2.35:1以下の場合、元のイメージが一部失われます。
	ネーティブ	入力ソースは、拡大縮小せずに表示されます。
	PureEngine	PureEngineは高度なイメージ処理技術を集めたもので、表示されたイメージの品質を向上します。
	SBSモード	「SBSモード」を「オフ」と「Side By Side」に切り替え、上/下ボタンを使用して「Top and Bottom」または「Frame Sequential」に切り替えて「入力する」を押し確認します。
	HDMI 1	「HDMI 1」を押してHDMI 1コネクタからソースを選択します。
	HDMI 2	「HDMI 2」を押してHDMI 2コネクタからソースを選択します。
	再同期	プロジェクトが自動的に入力ソースと同期します。
	YPbPr	「YpbPr」を押してコンポーネントビデオソースを選択します。
	VGA	「VGA」を押してVGAコネクタからソースを選択します。
	ビデオ	「ビデオ」を押してコンポジットビデオソースを選択します。
	ソース	「ソース」を押してVGA、コンポーネント、コンポジットビデオ、HDMIソースを選択します。

オンスクリーンディスプレイ メニュー

本プロジェクトでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクトは、ソースを自動的に検出します。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの「メニュー」ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、▲▼キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▶または「入力する」キーを押してサブメニューへ進みます。
3. ▲▼キーを使用してサブメニューの目的の項目を選択し、▶または「入力する」キーを押して詳細設定を表示します。◀▶キーで設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「入力する」または「メニュー」ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「メニュー」ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じられ、プロジェクトは自動的に新しい設定を保存します。



メニュー ツリー



- ❖ オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューは、選択した信号タイプと使用中のプロジェクトモデルによって異なることにご注意ください。



- ❖ (＃1)「カラー」と「色合い」は、コンボジットとコンポジットソースに対してのみサポートされます。
- ❖ (＃2)「3D同期反転」は、3Dが有効になっているときのみ使用できます。
- ❖ (＃3)「信号」は、アナログ VGA (RGB) 信号でのみサポートされます。



- ❖ 3Dがオンになっているとき、ダイナミックブラック機能は無効になります。

メイン メニュー サブ メニュー

イメージ	ディスプレイモード	設定
コントラスト		シネマ / 参照 / フォト / 明るい / 3D / ISF昼 / ISF夜 / ユーザー
輝度		-50-50
シャープネス		-50-50
■ カラー		0-15
■ 色合い		-50-50
詳細		-50-50
	ノイズ リダクション	0-10
	Y	映画 / ビデオ / グラフィック / 標準
	PureEngine	PureDetail / PureColor / PureMotion / PureEngine
	DynamicBlack	Demo / 終了
		オフ / シネマ 1 / シネマ 2
	色設定	色温度 / 色域 / CMS / RGBゲイン / バイアス / 色空間 / RGBチャンネル
	終了	
ディスプレイ	フォーマット	4:3 / 16:9 / LBX / ネーティブ
ズーム		0-10
エッジマスク		0-5
垂直イメージシフト		-50-50
垂直キーストン		-30-30
スーパースライド		オフ / 自動 / オン (16:9) / オン (2.35:1)
3D		
	3D モード	DLP リンク / VESA 3D
	3D → 2D	3D / L / R
	3D映像フォーマット	オフ / Side By Side / Top and Bottom / Frame Sequential
	■ 3D同期反転	オン / オフ
	終了	
システム	メニュー位置	
ランプ設定		
	ランプ使用時間	
	ランプ警告	オン / オフ
	ランプモード	明るい / 標準 / Image AI
	ランプリセット	キャンセル / はい
	終了	
投射方式		
テストパターン		オフ / グリッド / 白
背景色		青 / グレイ / 黒
12VトリガA		オン / オフ
12VトリガB		
	オフ	
	オン	4:3 / 16:9 / LBX / ネーティブ / 終了
	Auto 235	
	Auto 3D	
	終了	
設定	言語	English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Português / Svenska / Nederlands / Norsk / Dansk / Polski / Suomi / Русский / ελληνικά / Magyar / Čeština / عربي / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / Türkçe
入力ソース		HDMI 1 / HDMI 2 / コンポーネント / VGA / ビデオ / 終了
ソースロック		オン / オフ
高度		オン / オフ
信号搜索情報隠し		オン / オフ
自動電源オフ		0-180
信号		
	周波数	0-100
	位相	-50-50
	水平位置	-50-50
	垂直位置	-50-50
	自動	有効 / 無効
	終了	
	ホワイトレベル	-50-50
	ブラックレベル	-50-50
	彩度	-50-50
	色合い	-50-50
	IRE	0 IRE / 7.5 IRE
	終了	
リセット		
	現在	キャンセル / はい
	全部	キャンセル / はい

イメージ



❖ ISFモードが校正されていないとき、「ISF昼」と「ISF夜」は表示されません。

ディスプレイモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- ▶ シネマ：ホームシアター用。
- ▶ 参照：このモードは、映画監督が意図したように、イメージをできるだけアップにして再生することを目的としています。色、色温度、コントラスト、 γ 設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。
- ▶ フォト：写真イメージの表示用に最適化されています。
- ▶ 明るい：PC入力に対する最大輝度。
- ▶ 3D：有効にされた3Dモードの推奨設定。ユーザーが3Dで調節を行うと、新しい設定が保存され、次からはこの設定を利用できます。
- ▶ ISF昼：ISF昼モードでイメージを完全に校正し高品質画像になるように最適化します。
- ▶ ISF夜：ISF夜モードでイメージを完全に校正し高品質画像になるように最適化します。
- ▶ ユーザー：ユーザー自分の設定。



- ❖ 「カラー」と「色合い」は、コンポジットとコンポーネントソースに対してのみサポートされます。

コントラスト

コントラストは、イメージやイメージの最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、イメージの黒と白の量が変化します。

- ▶ ◀ を押すとコントラストが下がります。
- ▶ ▶ を押すとコントラストが上がります。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ▶ ◀ を押すと画像が暗くなります。
- ▶ ▶ を押すと画像が明るくなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ▶ ◀ を押すとシャープネスが下がります。
- ▶ ▶ を押すとシャープネスが上がります。

カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ▶ ◀ を押すと画像の彩度が低くなります。
- ▶ ▶ を押すと画像の彩度が高くなります。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀ を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ ▶ を押すと画像の赤が強くなります。

イメージ | 詳細



ノイズ リダクション

ノイズ リダクションは、目に見えるノイズインターレース信号の量を減少します。範囲は「0」から「10」の間です。(0: オフ)

γ

これにより、γ のカーブタイプを設定できます。初期設定と微調整が完了したら、γ 調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- ▶ 映画：ホームシアター用。
- ▶ ビデオ：ビデオまたは TV ソース用。
- ▶ 標準：標準化された設定用。
- ▶ グラフィック：イメージ ソース用。

PureEngine

PureEngineは高度なイメージ処理技術を集めたもので、表示されたイメージの品質を向上します。

DynamicBlack

DynamicBlackにより暗いムービーシーンの表示が自動的に最適化され、プロジェクタが細部までくっきり表示できるようにします。

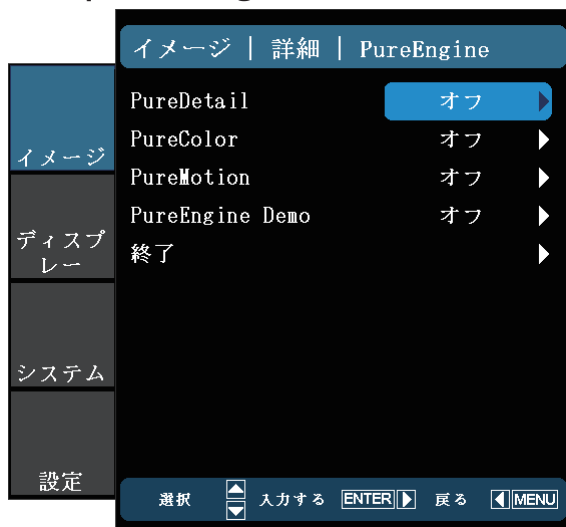
色設定

▶ を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。



- ❖ 3Dがオンになっているとき、ダイナミックブラック機能は無効になります。

イメージ | 詳細 | PureEngine



PureDetail

PureDetail はエッジ強調ツールで、投射された画像のエッジを強調し、それによって細部をよりくっきりと表示できるようになります。

PureColor

この調整可能なアイテムは新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して、映像の鮮明さを大幅に増しています。範囲は「0」から「5」の間です。

PureMotion

PureMotionは最新のアルゴリズムを使用して、画像の自然な動きを失わないようにしています。

PureEngine Demo

この機能により、生の処理されていない画像と PureEngine で処理された画像の画質の違いを見ることができます。このモードを使用して、PureEngine 設定に対して行った調整をチェックします。



- ❖ 入力ソースが 120Hz タイミングになっていると、PureMotion機能はこのタイミングをサポートせず灰色で表示されます。

イメージ | 詳細 | 色設定



色温度

D50、D65、D75、D83、D93、ネーティブから色温度を選択します。

色域

ネーティブ、DLP-C、HDTV、EBUまたはSMPTE-Cから適切な色域を選択します。

CMS(色管理システム)

- ▶ を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。色(R/G/B/C/M/Y)のいずれかを選択して、そのx/yオフセットと輝度を調整します。
- ▶ カラー：◀ または ▶ を使用し、赤、緑、青、シアン、マゼンタまたは黄色から選択します。
- ▶ X変移：◀ または ▶ を使用し、選択した色のx変移値を調整します。
- ▶ Y変移：◀ または ▶ を使用し、選択した色のy変移値を調整します。
- ▶ 輝度：◀ または ▶ を使用し、選択した色の輝度値を調整します。
- ▶ リセット：「はい」を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。



RGBゲイン/バイアス

- ▶ を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。
- ▶ ◀ か ▶ を使って、輝度(ゲイン)とコントラスト(バイアス)について赤、緑、青を選びます。
- ▶ リセット:「はい」を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。

色空間

自動、RGB、YUVから適切なカラー マトリックス タイプを定義します。

RGBチャンネル

◀ または ▶ を使用して、標準、赤、緑または青チャンネルから選択します。

ディスプレイ



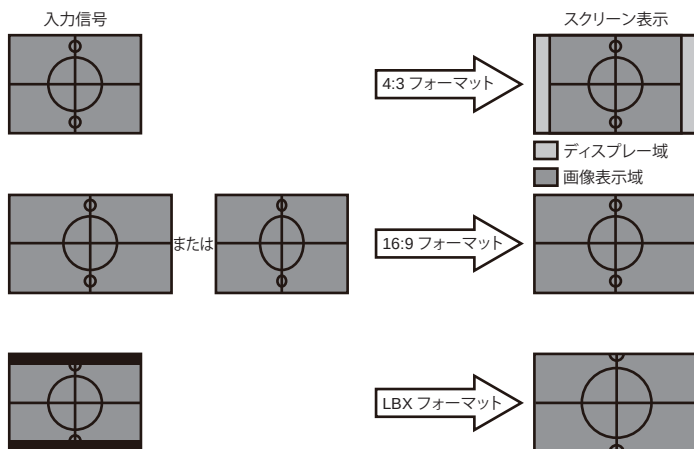
フォーマット

ここで、好みのアスペクト比を選択します。

- ▶ 4:3: このフォーマットは、4x3入力ソース用です。
- ▶ 16:9: ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような16x9入力用です。
- ▶ LBX: 16x9ではないレターボックスソースを投写する場合や、外部アナモルフィックレンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。
- ▶ ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。

LBX モードに関する詳細情報:

1. 一部のレターボックス形式 DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って16:9ディスプレイに画像を合わせることができます。
2. 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16x9ディスプレイに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。



ズーム

- ▶ ◀ を押すとイメージのサイズが小さくなります。
- ▶ ▶ を押すとスクリーンに投射されたイメージが拡大します。

エッジマスク

- ▶ ◀ を押すとイメージのエッジから中に縮みます。
- ▶ ▶ を押すとイメージのエッジから外に伸びます。

垂直イメージシフト

投射された画像位置を垂直に移動します。

垂直キーストン

◀ または ▶ を押すと、画像の垂直の歪みが調整されより正方形に近い画像が得られます。

スーパーワイド

スーパーワイドは特殊な2.0:1アスペクト比画面を使用して、16:9と2.35:1アスペクト比のムービーを、画面の上下に黒いバーなしに表示することができる機能です。

- ▶ オフ: 希望するアスペクト比は4:3、16:9、レターボックス、ネーティブから選択できます。
- ▶ 自動: フィルム形式の違いを解決するために、オプションで形式を同じ比に維持することができます。
- ▶ オン (16:9): 16:9フォーマットのみを選択できます。
- ▶ オン (2.35:1) 2.35:1フォーマットのみを選択できます。

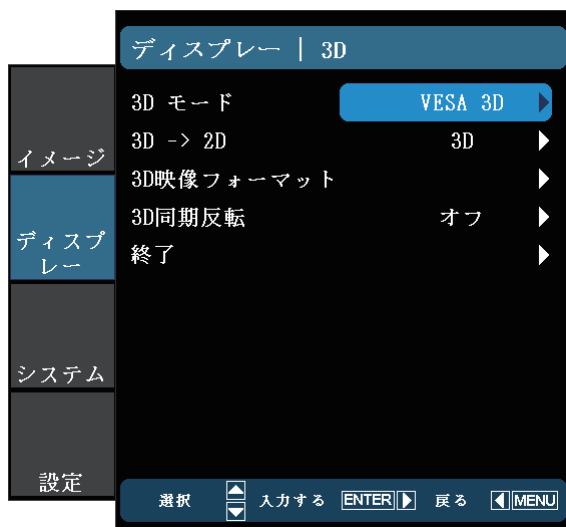
3D

▶ を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。



- ❖ 「スーパーワイド」は、デフォルトでは「オフ」です。
- ❖ 「スーパーワイド」の使用方法
 1. 2.0:1アスペクト比の画面を表示します。
 2. スーパーワイドをオンに切り替えます。
 3. プロジェクタの画像を画面に正しく合わせます。
 4. 黒いバーなしにムービーをお楽しみいただけます。

ディスプレイ | 3D



3Dモード

- ▶ DLP リンク: 「DLP リンク」を選択してDLP リンク3Dイメージ用に最適化された設定を使用します。(DLP眼鏡の場合、16ページを参照してください)。
- ▶ VESA 3D: 「VESA 3D」を選択してVESA 3Dイメージ用に最適化された設定を使用します。(DLPエミッターの場合、13ページを参照してください)。

3D -> 2D

- ▶ 3D: 3D信号を表示します。
- ▶ L (左): 3Dコンテンツの左フレームを表示します。
- ▶ R (右): 3Dコンテンツの右フレームを表示します。



- ❖ 「3D映像フォーマット」は非HDMI 1.4a 3Dタイミングでのみサポートされます。
- ❖ 「入力する」を押して3D映像フォーマットを選択します。

3D映像フォーマット

- ▶ オフ: 「オフ」を押して3D映像フォーマット変換を無効にします。
- ▶ Side By Side: 「サイドバイサイド」フォーマットで3D信号を表示します。
- ▶ Top and Bottom: 「Top and Bottom」フォーマットで3D信号を表示します。
- ▶ Frame Sequential: 「Frame Sequential」フォーマットで3D信号を表示します。



- ❖ 「3D同期反転」機能では設定を保存しません。電源がオンの時に「オフ」に設定すると、ソースが変更されます。

3D同期反転

- ▶ 「オン」を押して左右のフレームコンテンツを反転します。
- ▶ デフォルトのフレームコンテンツの場合「オフ」を押します。

システム



❖ 裏面-卓上および裏面-天吊りは、透明なスクリーンを使用する際に使用できます。

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

ランプ設定

▶ を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。

投射方式

- ▶  正面-投射方式
これは、デフォルト設定です。画像がスクリーン上にまっすぐに投射されます。
- ▶  裏面-卓上
選択されると、画像を左右逆向きに表示します。
- ▶  正面-天吊り
選択されると、画像を上下逆向きに表示します。
- ▶  裏面-天吊り
選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。



- ❖ 3Dがオンになっているとき「テストパターン」機能は灰色で表示されます。

テストパターン

テストパターンを表示します。格子、ホワイト、オフがあります。

背景色

この機能を使用して、信号が利用できない場合「青」、「黒」、または「グレイ」スクリーンを表示します。

12VトリガA

12VトリガAは、電動画面に標準トリガを提供します。

12VトリガB

- ▶ 「オフ」を押してトリガを無効にします。
- ▶ 「オン」を押して、トリガとプログラム可能サブメニューを有効にします。サブメニューには「オン」オプションを選択し、リモコンの「入力する」ボタンを押すことでアクセスできます。サブメニューでオプションにチェックを入れると、対応するディスプレイモードが選択されるときにトリガが起動します。例では、4:3が選択されています。これは、プロジェクタのディスプレイモードが4:3に設定されているとき、トリガBがアクティブになることを意味します。トリガは、他のディスプレイモードオプションではアクティブになりません。



- ▶ Auto 235: 「Auto 235」が有効になっているとき、プロジェクタは2.35:1比プレゼンテーションが表示されていることを自動的に検出し、このポートでトリガを起動します。その後、電動アナモルフィックレンズアセンブリを起動するために使用できます。「Auto 235」設定と電動アナモルフィックレンズアセンブリをこのようにして使用して、完全自動化「コントラスト高」投射システムを実現します。
- ▶ Auto 3D: 「Auto 3D」が有効になっていると、3Dイメージが表示されているときプロジェクタが自動的に検出され、このポートのトリガが有効になります。

システム | ランプ設定



ランプ使用時間

ランプの累計運転時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ランプモード

- ▶ 明るい:「明るい」を選択すると明るさが増します。
- ▶ 標準:「標準」を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- ▶ Image AI
Image AI は、映像のコンテンツに従ってランプの輝度を最適化することにより、映像のコントラストの向上を図っています。

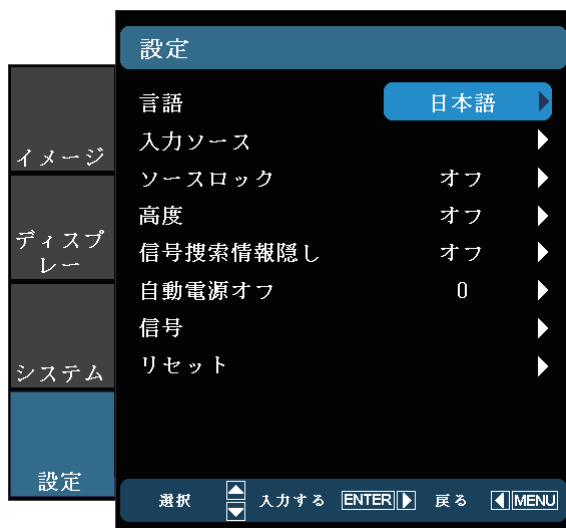
ランプリセット

ランプ交換後、ランプ寿命時間をリセットします。



❖ 「ランプモード」は2Dと3Dに対して個別に異なる設定をすることができます。

設定



言語

多言語対応オン スクリーン メニューをご希望の言語に設定します。サブメニューのまたは ◀ または ▶ を押し、▲ または ▼ を使って好みの言語を選択します。「選択 (入力する)」を押すと選択が確定されます。

入力ソース

HDMI 1、HDMI 2、コンポーネント、VGA、Videoから入力ソースを有効にします。▶ を押して次のメニューに入り、▲ か ▼ を使ってアイテムを選択します。「選択 (入力する)」を押すと選択が確定されます。プロジェクトは、選択を解除されている入力には検索しません。

ソースロック

この機能がオフになっているとき、現在の入力信号が失われた場合プロジェクトは他の信号を検索します。この機能がオンになっているとき、指定された接続ポートを検索します。

高度

「オン」を選択すると高度モードが有効になります。ファンが最高速度で連続動作し、高度においてプロジェクトを適切に冷却します。

信号搜索情報隠し

- ▶ 「オン」を選択すると、「情報メッセージ」が非表示になります。
- ▶ 「オフ」を押すと、「検索中」のメッセージが表示されます。



- ❖ 入力ソースがHDMIになっているとき、「信号」はサポートされません。

自動電源オフ

信号入力がない場合、システムのパワーオフの間隔を設定します。(分)。

信号

RGB/コンポーネントソース用

- ▶ 周波数: ディスプレーデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。
- ▶ 位相: ディスプレーの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- ▶ 水平位置: イメージ水平方向の位置を調整します。
- ▶ 垂直位置: イメージ垂直方向の位置を調整します。
- ▶ 自動: 信号を自動的に選択します。この機能を使用する場合、周波数と位相項目は灰色で表示されます。信号が自動でない場合、その後、プロジェクトが次に再びオフになり再びオンになるとき、周波数と位相項目は手動で微調整され設定で保存されるようにユーザーには見えます。

ビデオソースの場合:

- ▶ ホワイトレベル: Sビデオまたはビデオ/CVBS信号を入力しているとき、ホワイトレベルを調整できます。
- ▶ ブラックレベル: S-ビデオやビデオ/ CVBS シグナルを入力する場合、ユーザーがブラックレベルを調整できます。
- ▶ 彩度: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。◀ を押すと画像の色の量が減少します。▶ を押すと画像の色の量が増加します。
- ▶ 色合い: 赤と緑のカラーバランスを調整します。◀ を押すと画像の緑が強くなります。▶ を押すと画像の赤が強くなります。
- ▶ IRE: コンポジット ビデオ シグナルの尺度を調整します。

リセット

変更した値や設定を、工場出荷時設定に戻します。

- ▶ 現在: 現在の信号の設定を工場出荷時の値にリセットします。
- ▶ 全部: すべてのメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。



- ❖ 「IRE」はNTSC信号でのみサポートされます。

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

❓ スクリーンに画像が写らない

- ▶ すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- ▶ 接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- ▶ プロジェクタ ランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- ▶ レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクタの電源が入っているか確認してください。

❓ 画像のピントが合っていない

- ▶ レンズのキャップを取り外していることを確認してください。
- ▶ プロジェクタレンズのフォーカスリングで調整してください。
- ▶ プロジェクタと投射スクリーン間の距離が1.5～999.74cm以内の使用目安範囲内であることを確認してください。

❓ 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- ▶ アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
- ▶ LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- ▶ 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- ▶ それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。
- ▶ お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

❓ 画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- ▶ プロジェクタ上部のズームレバーを調整します。
- ▶ プロジェクタをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- ▶ プロジェクタパネルの「メニュー」を押し、「ディスプレイ → フォーマット」に進みます。別の設定を試してみます。



❓ 画像の両側が斜めになる:

- ▶ 可能であれば、プロジェクタがスクリーン中央下端に来るように配置し直してください。
- ▶ OSDから「ディスプレイ-->垂直キーストーン」を使用して調整を行います。

❓ 画像が反転する

- ▶ OSDから「システム-->投射方式」を選択し、投射方向を調整します。

❓ ぼやけた二重画像

- ▶ 通常の2D画像がぼやけた二重画像にならないよう、「SBSモード」ボタンを押して「オフ」にしてください。

❓ 2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- ▶ 入力信号がHDMI 1.3 2D 1080i サイドバイサイドとなるように、「SBSモード」ボタンを押して「Side By Side」にしてください。

❓ 3Dで画像が表示されません

- ▶ 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- ▶ 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- ▶ 入力信号がHDMI 1.3 2D (1080i サイドバイサイド) となるように、「SBSモード」ボタンを押して「Side By Side」にしてください。

その他の問題

- ❓ プロジェクタがすべてのコントロールへの反応を停止します
 - ▶ 可能であれば、プロジェクタの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。
- ❓ ランプが消える、またはランプから破裂音がする
 - ▶ ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクタの電源を入れることはできません。「ランプの交換」に記載の手順に従ってランプを交換してください。

リモコンの問題

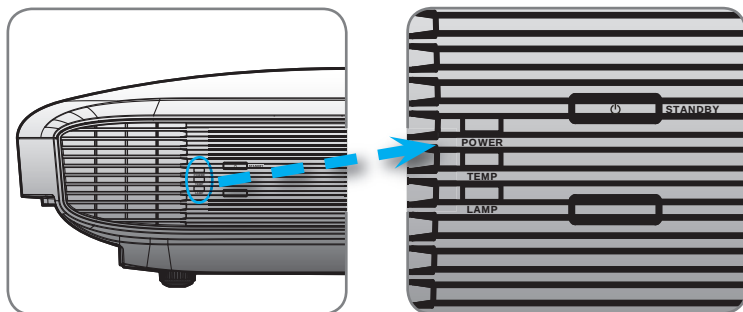
- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
 - ▶ リモコンの操作角度が、プロジェクタのIRレシーバーから水平および垂直方向に±25°以上ずれていないことを確認します。
 - ▶ リモコンとプロジェクタとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタから6m以内 (20フィート) に移動する。
 - ▶ 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - ▶ 古くなった電池は、新しいものと交換します。

LED 点灯メッセージ



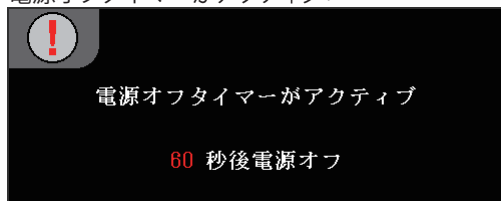
- ❖ 電源LEDオン: 信号なし、OSDメニューが表示され信号が検出されています。
- ❖ 電源LEDオフ: 信号は検出されていますが、OSDメニューが表示されません。

メッセージ	電源 LED (赤)	電源 LED (青)	温度インジケータ LED (赤)	ランプ インジケータ LED (オレンジ)
スタンバイ状態 (入力コード)	不動灯	オフ	オフ	オフ
電源オン(ウォーミング)	オフ	点滅	オフ	オフ
ランプのライトをオンにします。	オフ	不動灯 *	オフ	オフ
電源オフ(冷却)	オフ	点滅	オフ	オフ
エラー(ランプトラブル)	点滅	オフ	オフ	不動灯
エラー(ファントラブル)	点滅	オフ	点滅	オフ
エラー(過熱)	点滅	オフ	不動灯	オフ

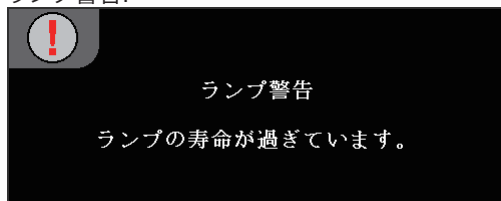


オンスクリーン メッセージ

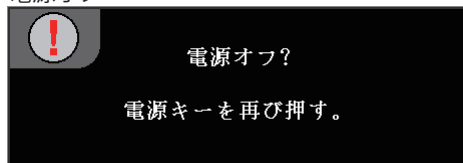
- ❖ 電源オフタイマーがアクティブ:



- ❖ ランプ警告:

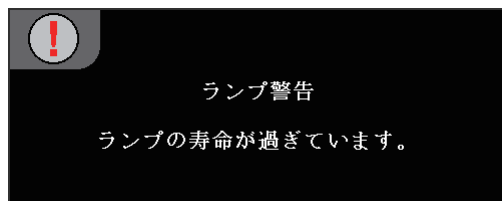


- ❖ 電源オフ:



ランプの交換

プロジェクタはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクタが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。



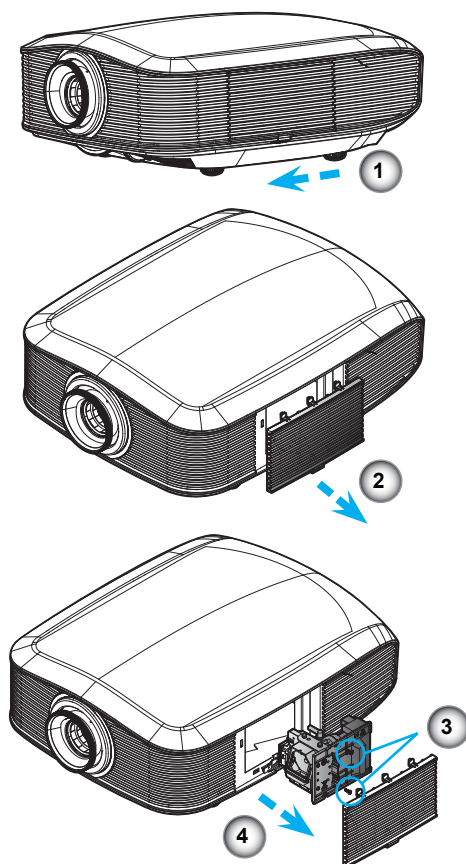
警告：天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。「プロジェクタからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります」。



警告：ランプコンパートメントは熱くなっています！放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください。



警告：怪我の原因となるため、ランプを落としたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。



ランプ交換手順:

1. 「電源」ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
2. ランプが十分に冷めるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. ランプカバーを開けます。❶
5. カバーを持ち上げて、取り外します。❷
6. ランプモジュールに取り付けられているネジを、ドライバーで取り外します。❸
7. ランプモジュールを引き出します。❹

ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。

8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクタの電源を入れ「ランプリセット」をオンにします。

ランプリセット: (i)「メニュー」を押し -> (ii)「システム」を選択し -> (iii)「ランプ設定」を選択し -> (iv)「ランプリセット」を選択し -> (v)「はい」を選択します。

互換モード

❖ PCのコンピュータ互換性

信号	解像度	水平同期 (kHz)	リフレッシュ 速度(Hz)	ビデオ	デジタル	アナログ
NTSC	-	15.734	60	○	-	-
PAL/SECAM	-	15.625	50	○	-	-
	720 x 400	31.5	70	-	○	○
	720 x 400	37.9	85	-	○	○
	720 x 576		50	-	○	○
VGA	640 x 480	31.5	60	-	○	○
	640 x 480		67	-	○	○
	640 x 480	37.9	72.8	-	○	○
	640 x 480	37.5	75	-	○	○
	640 x 480	43.3	85	-		○
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	-	○	○
	800 x 600	37.9	60.3	-	○	○
	800 x 600	46.9	75	-	○	○
	800 x 600	48.1	72.2	-	○	○
	800 x 600	53.7	85.1	-		○
XGA	1024 x 768	48.4	60	-	○	○
	1024 x 768	56.5	70.1	-	○	○
	1024 x 768	60	75	-	○	○
	1024 x 768	68.7	85	-		○
HD720	1280 x 720		50	-	○	○
	1280 x 720		60	-	○	○
	1280 x 720	92.62	120	-	○	○
WXGA	1280 x 768	47.4	60	-	○	○
	1280 x 768		75	-		○
	1280 x 768		85	-		○
WXGA-800	1280 x 800		60	-	○	○
SXGA	1280 x 1024	64	60	-	○	○
	1280 x 1024	80	75	-	○	○
SXGA+	1400 x 1050		60	-	○	○
UXGA	1600 x 1200	75	60	-	○	○
HD1080	1920 x 1080		24	-	○	○
	1920 x 1080		50	-	○	○
	1920 x 1080		60	-	○	○
WUXGA	1920 x 1200		60	-		○

信号	解像度	水平同期 (kHz)	リフレッシュ速度 (Hz)	ビデオ	デジタル	アナログ
HDTV	1920 x 1080i		50	-	○	○
	1920 x 1080i		60	-	○	○
	1920 x 1080p		24	-	○	○
	1920 x 1080p		50	-	○	○
	1920 x 1080p		60	-	○	○
	1280 x 720	45	60	○	-	-
	1280 x 720p		50	-	○	○
SDTV	1280 x 720p		60	-	○	○
	720 x 576	31.3	50	○	-	-
	720 x 576i		50	-	○	○
	720 x 576p		50	-	○	○
	720 x 480	31.5	60	○	-	-
	720 x 480i		60	-	○	○
	720 x 480p		60	-	○	○

❖ MACのコンピュータ互換性

解像度	リフレッシュ速度 (Hz)	Macbookの互換性		Macbook Pro (Intel) の互換性		Power Mac G5 の互換性		Power Mac G4 の互換性	
		デジタル	アナログ	デジタル	アナログ	デジタル	アナログ	デジタル	アナログ
800 x 600	60	○	○	○	○	-	-	○	○
800 x 600	72	○	○	○	○	-	○	○	○
800 x 600	75	○	○	○	○	-	○	○	○
800 x 600	85	-	○	-	○	-	○	-	○
1024 x 768	60	○	○	○	○	-	○	○	○
1024 x 768	70	○	○	○	○	-	○	○	○
1024 x 768	75	○	○	○	○	-	○	○	○
1024 x 768	85	-	○	-	○	-	○	-	○
1280 x 720	60	○	○	○	○	-	○	○	○
1280 x 768	60	○	○	○	○	-	-	○	○
1280 x 768	75	-	○	-	○	-	○	-	○
1280 x 768	85	-	○	-	○	-	-	-	○
1280 x 800	60	○	○	-	○	-	○	○	○
1280 x 1024	60	○	○	-	○	-	○	○	○
1280 x 1024	75	○	○	-	○	-	○	○	○
1920 x 1080	60	○	○	-	○	-	○	○	○
1920 x 1200	60	-	○	-	○	-	○	-	○

❖ 3D入力ビデオの互換性

入力解像度	HDMI 1.4a 3D入力	入力タイミング	
		1280 x 720p @ 50Hz	最上部から底部まで
		1280 x 720p @ 60Hz	最上部から底部まで
		1280 x 720p @ 50Hz	フレームパッキング
		1280 x 720p @ 60Hz	フレームパッキング
		1920 x 1080i @ 50 Hz	サイドバイサイド(ハーフ)
		1920 x 1080i @ 60 Hz	サイドバイサイド(ハーフ)
		1920 X 1080p @ 24 Hz	最上部から底部まで
		1920 X 1080p @ 24 Hz	フレームパッキング
	HDMI 1.3 3Dコ ンテンツ	1920 x 1080i @ 50Hz	サイドバイサイド(ハーフ)
		1920 x 1080i @ 60Hz	サイドバイサイド(ハーフ)
		1280 x 720p @ 50Hz	サイドバイサイド(ハーフ)
		1280 x 720p @ 60Hz	サイドバイサイド(ハーフ)
		1920 x 1080i @ 50Hz	最上部から底部まで
		1920 x 1080i @ 60Hz	最上部から底部まで
		1280 x 720p @ 50Hz	最上部から底部まで
		1280 x 720p @ 60Hz	最上部から底部まで
	2D入力 (HDMI/VGAポートを含む)	1024 x 768 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
		1024 x 768 @ 120Hz	フレームシーケンシャル
	2D入力 (HDMI/VGA/コンポーネント/コンポジットポートを含む)	480i	HQFS
		576i	HQFS

3D映像フォーマットが「Side By Side」になっている間

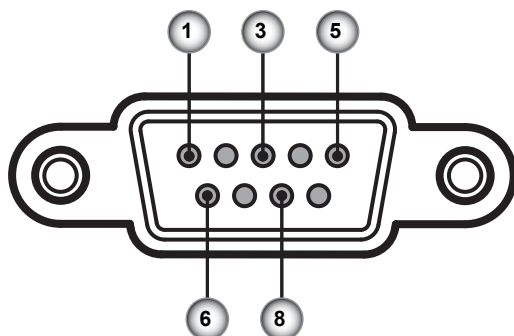
3D映像フォーマットは「Top and Bottom」になっている間

3Dモードの自動適用

3D映像フォーマットが「Frame Sequential」になっている間

RS232 コマンドとプロトコル機能リスト

RS232ピン割り当て



Pin 番号	名前	I/O (プロジェクト側)
1	NC	—
2	RXD	入力
3	TXD	出力
4	NC	—
5	GND	設置シグナル
6	NC	—
7	RTS	—
8	CTS	—
9	NC	—

RS232プロトコル機能リスト

Baud Rate 9600
Data Bits 8
Parity None
Stop Bits 1
Flow Control None
UART16550 FIFO
Projector Return (Pass): P
Projector Return (Fail): F

Note: There is a <CR> after all ASCII commands, 0D is the HEX code for <CR> in ASCII code

Lead Code	Projector ID	Command ID		
	X	X	X	X
			XX-01-99: projector's ID, XX-00 is for all projectors	
Function	Projector ID	Command ID		ASCII
Power		On/Off		n=1H=0 & 2 -XX00 n -XX01 n
Re-sync				n=1 -XX12 n
Direct Source Commands		HDMI 1		n=1 -XX12 n
		VGA 1 Component		n=1 -XX12 n
		Video		n=10 -XX12 n
		Component RCA		n=14 -XX12 n
		HDMI 2		n=15 -XX00 n
Display Mode		Cinema		n=1 -XX00 n
		Single		n=2 -XX00 n
		Photo		n=3 -XX00 n
		Reference		n=4 -XX00 n
		User		n=5 -XX00 n
		2SF Day		n=7 -XX00 n
		2SF Night		n=8 -XX00 n
		3D		n=9 -XX00 n
		Contrast		n=50 +50 -XX21 n
		Brightness		n=50 +50 -XX21 n
		Color		n=50 +50 -XX48 n
		Tint		n=50 +50 -XX44 n
		Sharpness		n=0 -15 -XX23 n
		Noise Reduction		n=0 -10 -XX19 n
		Gamma		n=1 -XX26 n
IMAGE		Gamma		n=7 +7 -XX182 n
		Gamma		n=5 -5 -XX183 n
		Gamma		n=1 -XX206 n
		Gamma		n=2 -XX36 n
		Gamma		n=7 +7 -XX184 n
		Gamma		n=5 -5 -XX185 n
		Gamma		n=1 -XX207 n
		Gamma		n=3 -XX36 n
		Gamma		n=7 +7 -XX186 n
		Gamma		n=5 -5 -XX187 n
		Gamma		n=1 -XX208 n
		Gamma		n=4 -XX36 n
		Gamma		n=7 +7 -XX188 n
		Gamma		n=5 -5 -XX189 n
		Gamma		n=1 -XX209 n
Advanced		PureMotion		n=0 -XX190 n
		PureMotion		n=1 -XX190 n
		PureMotion		n=2 -XX190 n
		PureMotion		n=3 -XX190 n
		PureMotion		n=4 -XX190 n
		PureMotion		n=5 -XX190 n
		PureMotion		n=6 -XX190 n
		PureMotion		n=7 -XX190 n
		PureMotion		n=8 -XX190 n
		PureMotion		n=9 -XX190 n
		PureMotion		n=10 -XX190 n
		PureMotion		n=11 -XX190 n
		PureMotion		n=12 -XX190 n
		PureMotion		n=13 -XX190 n
		PureMotion		n=14 -XX190 n
Color Settings / RGB Gain/Bias		PureColor		n=0 -XX42 n
		PureColor		n=1 -XX42 n
		PureColor		n=2 -XX42 n
		PureColor		n=3 -XX42 n
		PureColor		n=4 -XX42 n
		PureColor		n=5 -XX42 n
		PureColor		n=6 -XX42 n
		PureColor		n=7 -XX42 n
		PureColor		n=8 -XX42 n
		PureColor		n=9 -XX42 n
		PureColor		n=10 -XX42 n
		PureColor		n=11 -XX42 n
		PureColor		n=12 -XX42 n
		PureColor		n=13 -XX42 n
		PureColor		n=14 -XX42 n
Color Gamut		Color Gamut		n=0 -XX210 n
		Color Gamut		n=1 -XX210 n
		Color Gamut		n=2 -XX210 n
		Color Gamut		n=3 -XX210 n
		Color Gamut		n=4 -XX210 n
		Color Gamut		n=5 -XX210 n
		Color Gamut		n=6 -XX210 n
		Color Gamut		n=7 -XX210 n
		Color Gamut		n=8 -XX210 n
		Color Gamut		n=9 -XX210 n
		Color Gamut		n=10 -XX210 n
		Color Gamut		n=11 -XX210 n
		Color Gamut		n=12 -XX210 n
		Color Gamut		n=13 -XX210 n
		Color Gamut		n=14 -XX210 n
Color Space		Color Space		n=0 -XX211 n
		Color Space		n=1 -XX211 n
		Color Space		n=2 -XX211 n
		Color Space		n=3 -XX211 n
		Color Space		n=4 -XX211 n
		Color Space		n=5 -XX211 n
		Color Space		n=6 -XX211 n
		Color Space		n=7 -XX211 n
		Color Space		n=8 -XX211 n
		Color Space		n=9 -XX211 n
		Color Space		n=10 -XX211 n
		Color Space		n=11 -XX211 n
		Color Space		n=12 -XX211 n
		Color Space		n=13 -XX211 n
		Color Space		n=14 -XX211 n
DISPLAY		Color Space		n=0 -XX212 n
		Color Space		n=1 -XX212 n
		Color Space		n=2 -XX212 n
		Color Space		n=3 -XX212 n
		Color Space		n=4 -XX212 n
		Color Space		n=5 -XX212 n
		Color Space		n=6 -XX212 n
		Color Space		n=7 -XX212 n
		Color Space		n=8 -XX212 n
		Color Space		n=9 -XX212 n
		Color Space		n=10 -XX212 n
		Color Space		n=11 -XX212 n
		Color Space		n=12 -XX212 n
		Color Space		n=13 -XX212 n
		Color Space		n=14 -XX212 n
Format		Format		n=0 -XX213 n
		Format		n=1 -XX213 n
		Format		n=2 -XX213 n
		Format		n=3 -XX213 n
		Format		n=4 -XX213 n
		Format		n=5 -XX213 n
		Format		n=6 -XX213 n
		Format		n=7 -XX213 n
		Format		n=8 -XX213 n
		Format		n=9 -XX213 n
		Format		n=10 -XX213 n
		Format		n=11 -XX213 n
		Format		n=12 -XX213 n
		Format		n=13 -XX213 n
		Format		n=14 -XX213 n
3D		3D Mode		n=0 -XX214 n
		3D Mode		n=1 -XX214 n
		3D Mode		n=2 -XX214 n
		3D Mode		n=3 -XX214 n
		3D Mode		n=4 -XX214 n
		3D Mode		n=5 -XX214 n
		3D Mode		n=6 -XX214 n
		3D Mode		n=7 -XX214 n
		3D Mode		n=8 -XX214 n
		3D Mode		n=9 -XX214 n
		3D Mode		n=10 -XX214 n
		3D Mode		n=11 -XX214 n
		3D Mode		n=12 -XX214 n
		3D Mode		n=13 -XX214 n
		3D Mode		n=14 -XX214 n

Function					ASOTI	
SYSTEM	Menu Location	Top Right			n=1	-XX172 n
		Center			n=2	
		Bottom Left			n=3	
		Bottom Right			n=4	
	Lamp Setting	Lamp Hour	Lamp hour		n=1/n=2	-XX108 n
		Lamp Reminder	On/Off		n=1/n=2 & 2	-XX109 n
		Lamp Mode	Single/STD Image AI		n=1/n=2/n=3	-XX110 n
		Lamp Reset	Yes		n=1	-XX111 n
	Projection	Front Desktop			n=1	-XX171 n
		Rear Desktop			n=2	
		Front Ceiling			n=3	
		Rear Ceiling			n=4	
	Test Pattern		None / Grid / White		n=0/n=1/n=2	-XX195 n
	Background Color	Blue			n=1	-XX104 n
		Black			n=2	
		Gray			n=3	
	12v Trigger A		On/Off		n=0/n=1	-XX192 n
			On/Off/Auto25/Auto 3D		n=0/n=1/n=2/n=3	-XX193 n
			4:3	4:3 check		-XX205 0
				4:3 uncheck		-XX205 1
SETUP	12v Trigger B		16:9	16:9 check		-XX205 2
				16:9 uncheck		-XX205 3
			Letter Box	letter box check		-XX205 4
				letter box uncheck		-XX205 5
			Native	native check		-XX205 6
				native uncheck		-XX205 7
	Language	English			n=1	-XX101 n
		German			n=2	
		French			n=3	
		Italian			n=4	
		Spanish			n=5	
		Portuguese			n=6	
		Polish			n=7	
		Dutch			n=8	
		Swedish			n=9	
		Norwegian/Danish			n=10	
		Finland			n=11	
		Greek			n=12	
		Traditional Chinese			n=13	
		Simplified Chinese			n=14	
		Japanese			n=15	
		Korean			n=16	
		Russian			n=17	
		Hungarian			n=18	
		Czech			n=19	
		Arabic			n=20	
		Thai			n=21	
		Turkish			n=22	
	Input Source	HDMI 1			n=1	-XX39 n
		HDMI 2			n=7	
		VGA			n=8	
		3 x RCA Component			n=8	
	Source Lock		On/Off		n=1/n=2 & 2	-XX100 n
		High Altitude	On/Off		n=1/n=2 & 2	-XX103 n
		Information Hide	On/Off		n=1/n=2 & 2	-XX102 n
		Auto Power Off (min)			n=0-180	-XX106 n
	Signal	Automatic	Enable/Disable		n=0/n=1	-XX391 n
		Presets/Tracking			n=0-100	-XX174 n
		Phase			n= -50 ~ +50	-XX174 n
		H Position			n= -50 ~ +50	-XX175 n
		V Position			n= -50 ~ +50	-XX176 n
		White level			n= -50 ~ +50	-XX200 n
		Black level			n= -50 ~ +50	-XX201 n
		Saturation			n= -50 ~ +50	-XX202 n
		Gamma			n= -50 ~ +50	-XX203 n
		IRE	0 IRE / 7.5 IRE		n=1/n=2	-XX204 n
	Reset		Yes		n=1	-XX112 n
			No		n=2	
	Projector ID				n=00-99	-XX179 n
	Reset System Alert				n=1	-XX199 n
Information from Projector Automatically						
when:	Standby Mode				n=0	
	Warning up				n=1	
	Cooling Down				n=2	
	Out of Range				n=3	
	Lamp Fail				n=4	
	Thermal Switch Error				n=5	
	Fan Lock				n=6	
	Cover Temperature				n=7	
	Lamp Hours Running Out				n=8	
READ/Return Information from projector						
Information	a = Power State	On/Off			n=1	-XX150 n
	b = Lamp Hour				n=0	-XX150 n
	c = Input Source Commands	None			n=0	
		VGA			n=0	
		Video			n=0	
		HDMI1			n=0	
		HDMI2			n=0	
		Component			n=0	
	d = Firmware Version				n=11	
	e = Display mode	None			n=0	
		Gamma			n=1	
		Bright			n=2	
		More			n=3	
		RGB			n=4	
		User(1)			n=5	
		User2			n=6	
		ISP Day			n=7	
		ISP Night			n=8	
		SD			n=9	
	Model Name				n=0	-XX151 n
RS232 Version No		Depends			n=0/12	
		Depends			n=1	-XX152 n
		Depends			n=77	
	Input Source Commands	None / VGA / Video / HDMI1 / HDMI2 / Component			n=1	-XX121 n
	Software Version	Camera / Bright / Photo / Reference / User / ISP Day / ISP Night / 3D			n=1	-XX122 n
	Display Mode	On/Off			n=1	-XX123 n
	Power State	On/Off			n=1	-XX124 n
	Brightness				n=1	-XX125 n
	Contrast				n=1	-XX126 n
	Aspect Ratio	4:3 / 16:9 / LBK / Native			n=1	-XX127 n
RS232 Commands for HDB Remote command is TBD	Color Temperature	DE0DE0D075D0E3D0E3Native			n=1	-XX128 n
	Projection Mode	Front-Desktop Rear-Desktop Front-Ceiling Rear-Ceiling			n=1	-XX129 n
Remote Control	Up/Down +				n=10	
	Left/Source				n=11	
	Error (for projection MENU)				n=12	
	Right/Re-Sync				n=13	-XX140 n
	Down/Power				n=14	
	Menu				n=20	
	Re sync				n=41	

天井への取り付け

1. プロジェクタの損傷を防ぐため、必ず Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
 - ▶ ネジの種類：M6
 - ▶ 最大ネジ長：12mm
 - ▶ 最小ネジ長：10mm

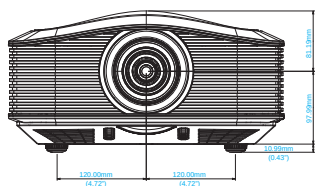
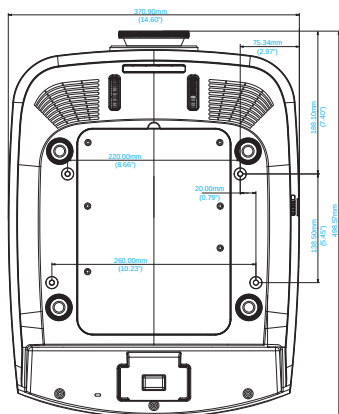


❖ プロジェクタを正しく取り付けられないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



警告：

1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. 天井とプロジェクタの底部には少なくとも 10cm の間隔をあけておくようにしてください。
3. 熱源の近くにプロジェクタを取り付けしないでください。



Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

アメリカ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

カナダ

2420 Meadowpine Blvd., Suite #105
Mississauga, ON, L5N 6S2, Canada
www.optoma.ca

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

中南米及びメキシコ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford
Business Park Watford,
Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
サービスダイヤル: +44 (0)1923
691865

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

ベネルクスBV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
オランダ
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 820 0253
 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr

Spain

C/ José Hierro, 36 Of. 1C 28522
Rivas VaciaMadrid,
Spain

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スキャンディナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
Norway

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F, Minu Bldg. 33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター: 0120-380-495□□

info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

台湾

5F., No. 108, Minchiuan Rd.
Shindian City,
Taipei Taiwan 231, R.O.C.
www.optoma.com.tw

+886-2-2218-2360
+886-2-2218-2313
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

当付録はプロジェクト総則の一覧です。

FCC通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- ❖ 受信アンテナの方向または位置を変える。
- ❖ 本装置と受信機の距離を離す。
- ❖ 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- ❖ 販売店やラジオ/テレビの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドされたケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

FCC準拠に責任を持つ製造者からの明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダにお住まいのユーザーへ

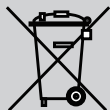
このクラスBデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)



廃棄物についての指示

この電子装置を廃棄する際、ゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、地球環境を最大限に保護するため、リサイクルしてください。